

ローカル・リモートセンシング技術の開発に関するワークショップ

主 催：(社) 土木学会関西支部

日 時：平成 17 年 5 月 29 日（日） 13:30～16:00

会 場：大阪工業大学大宮キャンパス WS-2 会場(744 教室)
大阪市旭区大宮 5-16-1

衛星からのグローバルなリモートセンシング技術の進歩は、これまで知りえなかった様々な自然現象を明らかにし、地球規模での水域環境、大気環境等のモニタリングに大きく貢献しております。しかし、現在の衛星データでは数十 km から数百 km 四方の領域を対象として計測しているため、数十 m から数百 m の計測領域である沿岸環境、河川環境や都市環境をモニタリング（ローカルリモートセンシングと呼ぶ）するには解像度が不足しております。

沿岸環境、河川環境や都市環境のローカルモニタリングに期待できる機器として係留型バルーンやヘリコプターに設置されたビデオカメラ、および監視用に各種施設に設置されている ITV の利用が考えられます。これらの機器を用いれば数mから数百 m のモニタリングが可能となります。

また、世界的な IT 化に伴い、ハードウェアおよびソフトウェアが急速に進歩しております。このような最新技術をいかに利用すればどのような情報が得られるのか、どのように使えばより有効に使える等の検討を始める必要があります。さらに、その技術をいかに沿岸管理、河川管理や都市環境モニタリングに利用するかを検討する時期に来ております。

以上のような状況を踏まえ、(社) 土木学会関西支部では、共同研究グループとして「ローカル・リモートセンシング技術の開発に関する調査研究」を行ってまいりました。その成果を踏まえて、ローカル・リモートセンシング技術に関するワークショップを開催いたします。多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

時 間	題 目	講 演 者
13:30～14:00	① 「開会の挨拶」および「ローカルリモートセンシングによって沿岸域から見てきたもの」	大阪大学 出口 一郎
14:00～14:20	② 「ローカル・リモートセンシングによる実河川表面流の PTV 計測」	近畿大学 高野 保英
14:20～14:40	③ 「ローカルリモートセンシングのための風の制御実験システムについて」	大阪工業大学 小松 信雄
14:40～14:50	休 憩	
14:50～15:10	④ 「気球とビデオカメラを用いた沿岸域環境特性把握の試み」	大阪市立大学 重松 孝昌
15:10～15:30	⑤ 「ステレオ画像法による水面波形計測技術の開発」	近畿大学 竹原 幸生
15:30～16:00	⑥ 「LSPIV による宇治川水制群の越流・非越流状態の流れの計測」および「閉会の挨拶」	神戸大学 藤田 一郎